

地盤工学会 関東支部 造成宅地の耐震対策に関する研究委員会 (H24 年度活動)
第 6 回議事録 (準備委員会含む第 10 回)

日時：平成 24 年 6 月 15 日 (金) 15:00~17:30

場所：竹内社労士事務所 貸会議室 4 階

出席者：安田委員長、飯沢委員、内山委員、小川 (和) 委員、小西委員、小林委員、澤田委員、新坂委員、杉山委員、高田委員、手塚委員、橋本 (隆) 委員、平出委員、山本委員、大林

資料：6-1 議事次第、議事録、浦安相談会相談調書

6-2 第 2 章、第 3 章原稿案

6-3 第 5 章原稿案

6-4 第 6 章原稿案

6-5 液状化による被害の復旧技術

6-6 浦安市相談会予定表

議事：

1. 委員長挨拶

- ・浦安市の住民相談会がいよいよ始まり対応を開始した。相談に来る住民は熱心に勉強している方が多く関心の高さや事の重要性を改めて感じる。
- ・早く、手引書を完成させ、住民対応に生かしたい。

2. 浦安市建築指導課依頼の相談会について

- ・5月16日(土)浦安市富岡公民館、6月2日(土)浦安市中央公民館で実施した住民相談会の内容を調書にて説明。相談内容、回答について確認。
- ・今後の対応について、相談員の希望者を募った。今後、日程に合わせて希望があれば参加していただく。

3. 液状化対策ハンドブックの内容について

2章、3章

- ・再液状化は何故発生するのかなどを盛り込む。
- ・外力(L1とL2)による対応の考え方について記述する。
- ・第3章タイトルは「液状化による被害のメカニズムと対応(軽減方法?)の考え方」などとする。

5章

- ・タイトル「戸建て住宅の液状化判定方法および調査」などとする。
- ・地域性などもあるが、調査はどの層まで実施すべきかなどの推奨案を示す。
- ・N値・粒度による判定法を示しているので、標準貫入試験は記述の必要がある。
- ・一般論を示した後に、簡易的な様々な方法があることを示す。
- ・スウェーデン式サウンディングは戸建ての支持力算定においては確立されている(告示1113号)ので否定すべきではなく、液状化判定を実施するうえで課題があることを示す。

6章・7章

- ・工法の各論(設計法、施工法、留意事項など)をそれぞれ記述するようにする。
- ・既往の地震において確認されている対策効果の事実を載せるようにする。

その他

- ・「液状化対策」という表現ではなく、「液状化への対応」といった表現にする。
- ・「戸建て」とし「て」の送り仮名をつける。

3. 次回予定

7月31日(火) 15:00~ 地盤工学会館

以上